

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	江戸川区発達・相談支援センター		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 8日		～ R8年 1月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	R7年 12月 8日		～ R8年 1月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	R8年 1月 13日		～ R8年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性に基づいた具体的な支援の提供	個々の児童に対してフォーマル・インフォーマル双方の アセスメントを実施し、特性や発達段階を踏まえた支援 を行っています。支援内容については、保育現場で実践 可能な具体的な関わり方や環境調整の方法として提示す ることを意識し、訪問後の記録や職員間共有（ICTツ ールの活用）を通して支援の質の向上に努めています。	事例検討や内部研修を充実させ、支援員のスキルの向 上を図り、園の実情に応じた実行可能性の高い支援提 案をより一層重視します。
2	保育所・関係機関との連携体制の構築	訪問先施設の理念や保育方針を尊重しながら支援を行 い、支援前後の打合せやカンファレンスを通して情報共 有を図っています。また、サービス担当者会議や就学時 の引継ぎにおいて関係機関と連携し、継続的な支援体制 の構築に努めています。	訪問先施設との情報共有の頻度や内容を整理し、支援 内容がより現場に定着するよう、簡潔で活用しやすい フィードバック様式の整備を進めます。
3	保護者・園・事業所間の情報共有と一貫した支援	保護者および訪問先施設と日頃から情報共有を行い、児 童の状況や課題について共通理解を図っています。支援 計画の作成・見直しにおいても、保護者および園の意向 を踏まえ、ご家庭・園・事業所で一貫した支援が行われ るよう配慮しています。	来所機会が少ない家庭に対しても情報共有が十分に行 えるよう、電話や書面等を活用した連携方法の多様化 を図ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の実行可能性と現場適応性	訪問先施設の人員配置や保育環境等の制約により、提案 した支援内容が現場で十分に実施できない場合があるこ とや、支援員ごとに助言内容に差が生じることが要因と して考えられます。	訪問先施設の実情を踏まえた実行可能性の高い支援提 案を徹底するとともに、代替案や段階的導入の提示を 行ってまいります。また支援員の更なるスキルの向上 を目指します。
2	支援員による助言のばらつき	支援員間の情報共有不足と支援員のスキルの差が要因と して考えられます。	事例共有や研修の充実により助言内容の質の均一化を 図り、安定した支援提供に努めます。